

検証について

本当にスイッチング・レギュレータが悪いのかどうか？

(本来「**教えてください。情報くださいコーナー NO.2**」に提出する前にやるべきことだったのですが 不精をしました。申し訳ございません。)

結論から言うと、現在質問を行っている Linear Technology のスイッチング・レギュレータ (型名は LTC1628CG) が原因ではないようです。

新たに原因を探る必要があるようです。(今度はチップコンデンサでしょうか???)

確認の方法が分からないため、引き続きアドバイスお願い致します。

● スイッチング・レギュレータが原因でない検証方法について

2 台の VAIO QR1 で実験をすることにしました。

左のマシンは正常動作に動作するマシン (1 号機)

(VAIO PCG-QR1E/BP Celeron900 512MB メモリ 40GBHDD)

右のマシンが今回問題のマシンです (2 号機)

(VAIO PCG-QR1S/BP Celeron800 256MB メモリ 10GBHDD)

CPU,メモリは 1 号機にて確認済み



原因の絞込み (以下の順に実施)

それぞれ、1 号機で使用しているものと 2 号機で使用しているものを交換し確認

- 1 . AC アダプタ
- 2 . バックアップバッテリー
- 3 . スイッチングレギュレータ

結論 : 電源が落ちる現状は、上記のものに起因するものではない



1. ACアダプタの交換

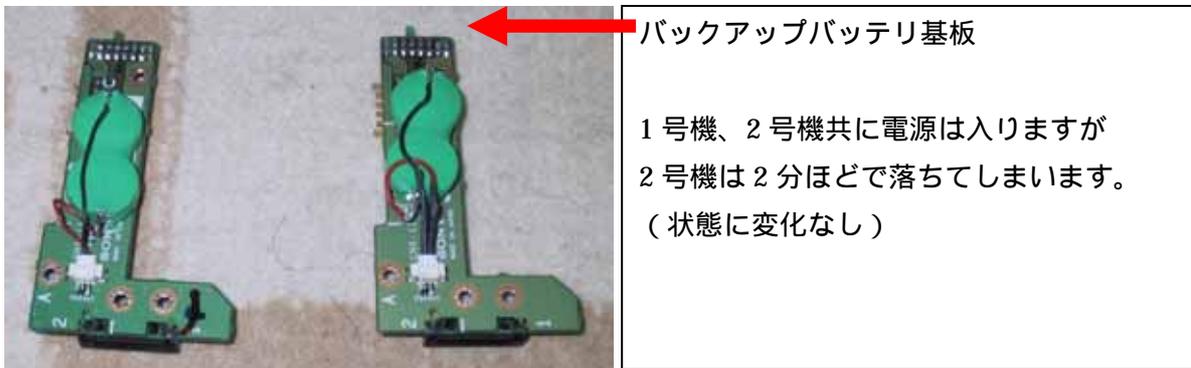
原因の絞り込みをしやすいように外せる部品 HDD、モデムなどは外し、ACアダプタを交換後動作確認

結果：状態変わらず（2号機- 電源入りません。）

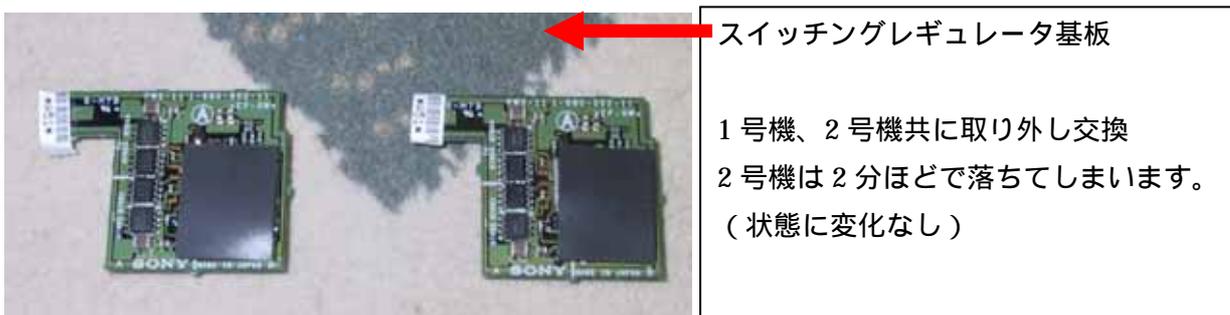


2. バックアップバッテリー

バックアップバッテリーは、ボタン電池のみを外すこともできますが、今回は基板ごと外し、確認を行いました。



3. スイッチングレギュレータ



2号機のスイッチングレギュレータ基板を使用した1号機は落ちることもなく、正常に動作しています。

よって1, 2, 3の原因ではないと判断されます。

いよいよマザーボード内のパーツに踏み込む必要がありそうです。